

2年の任期を

終えての所感



委員 青柳 宗五郎

何もできないまま2年が過ぎてしまいました。委員の皆様のご尽力に心より感謝申し上げます。市民の皆様にとって読みやすく、分かりやすい紙面づくりを心がけ、より興味を持っていただけたら、広報となるよう努めていきたいと存じます。

今後も精進してまいりますのでどうぞよろしく願います。



委員 武藤 義彦

広報編集にあたっては、限られた紙面の中で如何に市民に分かりやすく伝えられるかと定例会ごとに頭を抱えますが、委員会での繰り返し原稿校正や添付写真にも苦慮しながら、市民が手軽に手に取れるよう編集に務めております。

今後、さらに充実した広報とするため皆様の感想・ご意見をお知らせ頂ければ幸いです。



委員 熊谷 一夫

広報委員会で北上市と栗石町へ研修視察に行きました。

いかに読みやすい・わかりやすい・住民に親しまれる議会だよりにするために、市民(町民)と協力し、知恵を絞り、リニューアルを行って議会の動きと共に市民の笑顔も見えてくるような「議会だより」を情熱込めて創っていました。当市議会だよりも皆さんに喜んで読んでもらえる紙面にしていきたいと思っております。



委員 門脇 晃幸

議会だよりは、議会の「見える化」による、説明責任を果たすことである。しかし、市民に見て頂かなくては意味をなさない。これまで様々な工夫を重ねてきたが、まだまだ不十分と考える。次代の委員会には広報の多様化を考え幅広い住民の意見(広聴)や知りた情報等の掲載を通し、住民の関心・政治参加意識の向上につながるよう期待したい。



委員 田口 寿宜

広報編集は、議員各位の思いがしっかりと市民の皆様へ伝わる事を意識し、活動して参りました。委員会では、北上市、栗石町へ



委員 小田島 広仁

研修に行ってきた。両市町とも「伝える」という部分に主眼を置き、読みやすい紙面となっておりました。改選後の「議会だより」、学んだ事を活かしながら、市民の皆様の目にすんなり入る紙面に出来たらと思っております。

議員になつてから4年間編集に関わってきました。委員で考えていることは、市民の皆様に議会を分かってもらうため、見やすい議会だよりを作ること。なかなか大きく変えることはできませんでしたが、少しずつその方向に進んでいると感じています。議会だよりの原稿を作ることで、自分にとっても議会全体の発言等々について学びにもなりました。



副委員長 高橋 輝彦

平成30年に初当選してから連続8年間、編集に携わってきました。昨年度は文字を大きくしたり、特にお伝えしたい議案をピックアップして掲載したり、表紙の写真をもっと参加型にしたりと、市民の皆さまが興味を持っていただける紙面づくりを心がけてきました。そろそろ若手編集委員の大胆な発想による刷新を期待しております。

市民参加の表紙の写真

No.7

菅原 一男さん

(田沢湖武蔵野)

市民提供の表紙写真の第7弾は、田沢湖武蔵野の菅原一男さんです。菅原さんは仙北市芸術文化協会写真部に所属しており、写真歴は30年以上になります。

仙北市の豊かな自然が大好きで、市内の四季折々の様々な風景を撮り続けています。田沢湖周辺、乳頭温泉郷、角館武家屋敷がお気に入りスポット。写真以外のご趣味は俳句。地域の仲間と一緒に俳句を学んでいる時間もとても楽しいそうです。

人事案件

(敬称略)

雲沢財産区管理委員

鈴木 泰昌 (58歳) 【新任】
角館町下延大前田206

人権擁護委員

茂木 一代 (64歳) 【再任】
角館町小勝田中川原111

浅利 浩子 (68歳) 【再任】
西木町松木内字山口199

編集後記

大雪で悩まされたことが嘘のように、雪解けを嬉しく感じます。

仙北市民歌3番後段に、「平和の幸を創るまち」とあります。何気なく口ずさむこの言葉の重さを、卒業式場いっばいに響き渡る歌声に、今の世界情勢を考えてしまいました。

編集には、市民の皆さんが読みやすく、手に取りたい紙面を心がけ参りました。「意見お聞かせ下さい」とあったから連絡してみた。とてもうれしい一報もありました。内容の詳細な説明を求められたりすることで、委員会の重責を実感できました。

この2年間に、岩手県北上市議会・栗石町議会を訪ね、広報担当委員会と交流の中から学び得たことを、即刻生かしたい熱意は広報委員皆同じであることを確認できました。次期編集委員会に期待をしたいと思います。



(平岡 裕子委員長記)